

科 目 名	解 剖 学 I 【理学・作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	長 島 聖 司						
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	解剖学Ⅰでは受動的運動器である骨と能動的運動器である筋について講義する。骨学では全身の個々の骨について系統的に学び、各骨の連結（関節）ならびに隆起、陥凹、溝、孔などを説明し、最終的には全身の骨格の構成がどのように構成されているかを講義する。筋学では個々の筋の起始、停止、神経支配、主な作用について説明し、最終的には運動にたいする筋の働きを講義する。体表解剖学では主に骨、筋の触診を目的とした体表解剖を教授して理学療法、作業療法の臨床に役立つ解剖学的知識へと統合する。						
授 業 の 到 達 目 標	解剖学では正常な人体の形態と構造とを系統的に学ぶ。将来、医療に従事する者にとって人体諸器官の正常構造を先ず理解することは必須事項である。 解剖学Ⅰでは運動という現象がどのようにして成り立っているかを理解する。						
学 習 方 法	講義						
テキスト及 び参考書等	平田幸男訳、分冊「解剖学アトラスⅠ運動器」、文光堂。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎				100	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ◎評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	解剖学総論						
第 2 週	骨学総論						
第 3 週	頭蓋①						
第 4 週	頭蓋②						
第 5 週	胴の骨						
第 6 週	上肢の骨						
第 7 週	下肢の骨						
第 8 週	筋学総論						
第 9 週	背部の筋						
第 10 週	頭部の筋						
第 11 週	胸腹部の筋						
第 12 週	上肢の筋						
第 13 週	下肢の筋						
第 14 週	体表解剖学						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考							